

ピックアップ 市政情報

福島県知事選挙

11月11日任期満了による福島県知事選挙は、次の日程で行われます。

告示日 10月9日(木)

投票日 10月26日(日)

郵便等による不在者投票

身体障害者手帳、または戦傷病者手帳を持っている方で、一定以上の障がいのある方または介護保険の被保険者証の要介護状態区分が「要介護5」の方は、事前に手続きをすれば自宅等で投票を行うことができますようになります。

詳しくは、市ウェブサイトをご覧いただくか左記までお問い合わせください。

◎問い合わせ…

選挙管理委員会事務局

☎(55)5146

秋の全国交通安全運動

9月21日～30日

運動の重点

・夕暮れ時と夜間の歩行中や自転車乗用中の交通事故防

止(特に、反射材用品等の着用の推進および自転車前照灯の点灯の徹底)
・全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

・飲酒運転の根絶

夕暮れ時・夜間の交通事故に

注意

秋は日没時間が急に早くなり、視認性の低下による交通事故が増加する傾向にあります。歩行者は反射材の活用、自転車利用者は前照灯の早めの点灯を心掛けましょう。

シートベルトは後部座席も着用

事故に遭った場合、後部座席の非着用者の致死率は、着用者の約4倍にもなります。全ての座席のシートベルト着用を徹底しましょう。

飲酒運転は絶対しない!

飲酒した場合は絶対運転してはいけません。運転する可能性がある人にお酒を勧めてもいけません。

「酒を飲んだら絶対に運転しない。させない。」ことを必ず実行してください。

◎問い合わせ…

生活環境課市民生活係

☎(55)5102

10月1日から安達、岩代、東和地域において デマンドタクシーの運行を開始します

デマンドタクシーは、予約制の乗合タクシーで、定められた運行区域内であれば、1回300円でご自宅から目的地までご利用できます。

事前に登録が必要です

デマンドタクシーを利用するには、事前に登録が必要です。お近くの各支所地域振興課または住民センターにお申し込みください。

コミュニティバスの運行見直し

デマンドタクシー運行開始に伴い、コミュニティバスの運行内容を下表のように見直します。

	継続運行する路線	9月30日をもって廃止する路線
安達地域 コミュニティバス	平日登校便 午前①、②、③コース 平日登校便 午後①、②、③コース	日中巡回便「上川崎・下川崎」 日中巡回便「油井・渋川」
岩代地域 コミュニティバス	津島・田沢、名目津温泉コース 広瀬経由杉沢・新殿小コース 小浜小コース 旭小コース 岩代中コース	日中巡回便A(曲山・大森) 日中巡回便B(茂原、里、箱石) 日中巡回便C(杉沢) 日中巡回便D(上太田、堀米) 日中巡回便E(初森、成田) 日中巡回便F(長折、太池田)
東和地域 コミュニティバス	平日登校便往路①～⑩コース 平日登校便復路①～⑥コース 土日祝日便 ①(伏返～太田若宮) ②(才の神～太田若宮)	日中巡回便北A 日中巡回便北B 日中巡回便南C 日中巡回便南D

◎問い合わせ…企画財政課企画調整係 ☎(55)5090

屋外広告物の適正化

屋外で公衆に表示されているポスター、立看板、広告板、広告塔などの屋外広告物を許可地域に表示するためには、市長の許可が必要となります。

屋外広告物適正化旬間

9月1日(月)～10日(水)

屋外広告物の適正化を一層促進するため国で定めています。市も意識啓発等を推進していくこととしています。

はり紙、立看板、広告板、広告塔などの屋外広告物は、

私たちの生活に必要な情報を伝えるだけでなく、街に賑わいをもたらしています。

一方、これらの広告物が無秩序に氾濫すれば、良好な景観を損なうばかりでなく、落下、倒壊による危険や交通安全上の問題も発生します。

安全で美しいまちづくりのため、市民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

◎問い合わせ:

都市計画課計画係

☎(55)5128

英語指導助手をご紹介します

8月4日付けで、新たな英語指導助手(ALT)として赴任しました。



ベイリー アビゲイルさん



ハルジー シャーンさん

アビゲイルさんは、イギリスのリトル・ハダム出身。二本松一中、二本松二中、二本松三中で英語指導にあたります。

シャーンさんは、イギリスのチーム出身。小浜中、岩代中で英語指導にあたります。

よろしくお願ひします！

「復興と再生

そして世界へ」

二本松市長

新野 洋

前回『さあ二本松を元気に』と書きましたが、市役所内部も活気が出てきて、市民の皆様から「職員が明るくなったね」という声が寄せられると、頼もしく嬉しい限りです。

近況を報告しますと、豪雪対策としては、各部課、各支所から課題とその対応について情報を集め、その対策をまとめました。そして他の自治体と先駆け、今年の冬に間に合うように小型除雪機五十四台を購入し、各施設に配置することにしました。

放射線対策としては、ホットスポットファイナダーが納入されましたので、さっそく子ども達の安心安全を確認する為に、通学路の放射線量測定を始めました。非破壊式の放射線測定器は間もなく納入予定となっております。そして除染作業では復興支援事業協同組合の努力の結果として、

一日千五百人体制が出来上がり、スピードが上がってきました。

観光関連では、五月に行われた第六十回安達太良山山開きに、県内外から昨年の二倍に当たる一万五千人の登山客がおいでになりました。関係団体皆様の力強いご協力の成果と感謝しております。

七月末に市内の中学二年生十名を引率し、国際友好都市であるアメリカのハノーバーに行ってきました。

今年で二十回目の訪問になります。ホームステイ受け入れの募集に対し、四百名の

方が応募されたと聞いて、ハノーバーの皆さんの交流意識の高さに驚かされました。

三泊のホームステイやダートマス大学見学、歓迎交流会等、地元関係者の皆様には大変お世話になりました。

四日目はニューヘブーン市に移動し安倍内閣参与で経済ブレーンである、浜田宏一イェール大学名誉教授との夕食会に臨みました。子ども達は楽しく会食しながら、それぞれ質問をさせていただきました。

翌日見学したイェール大学は、先のダートマス大学と同じく、朝河貫一博士の貴重な資料の保存、顕彰がしっかりとなされており、朝河博士の国際的な存在の大きさを再認識させられました。

二本松市出身のセブン銀行会長の安斎隆さん、原発事故の国会事故調査委員長の黒川清さん、そして宇田左近教授から、二本松市民の留学も検討してはどうかと支援のお話もいただいております。高校生、大学生、英語教員等の短期留学を視野に、可能性を探ってみたいと思っています。



▲朝河貫一博士墓前にて